

# PHARMACY DIGEST

## 2・3

合併号

2018 February &  
March

【巻頭インタビュー】…… 2 P

### \* 大学病院薬剤師外来と保険薬局の連携により 認知症患者の服薬アドヒアランス向上

地域医療と医師らを支える大分大学医学部附属病院薬剤部の取り組み

大分大学医学部附属病院 薬剤部長 伊東弘樹、同院 副薬剤部長 佐藤雄己

【地域包括ケア時代の薬局・薬剤師の役割⑩】…… 7 P

### \* バイタルサインの位置づけが大きく変わる!?

ファルメディコ株式会社 / 大阪大学大学院医学系研究科統合医療学寄附講座 特任准教授 狭間研至

【2025年を見据えた薬局マネジメント—人材育成の観点から—⑤】…… 8 P

### \* “蝶”が集まる職場づくりに努める

全国薬剤師・在宅療養支援連絡会 会長 / 栃木県薬剤師会 会長 / 株式会社メディカルグリーン 代表取締役社長 大澤光司

【連載エッセイ / 認知症?⑬(最終回)】…… 9 P

### \* 会計のレジの前で

株式会社日立製作所 ひたちなか総合病院 在宅医療推進センター長 亀山仁一

【To Best Pharmacy ~愛されるかかりつけ薬局を目指して~】…… 10 P

### \* 合同会社あおば薬局 (三重県桑名市) / 株式会社パル・オネスト (埼玉県富士見市)

\* 【今月のおすすめ「食事療法レシピ」】 ごろごろ野菜の筑前煮…… 12 P



# 大学病院薬剤師外来と保険薬局の連携により 認知症患者の服薬アドヒアランス向上 地域医療と医師らを支える大分大学医学部附属病院薬剤部の取り組み

大分県唯一の特定機能病院として、また地域にとっては医療の「最後の砦」として機能している大分大学医学部附属病院。同県内には薬学部がないこともあってか、薬剤師が慢性的に不足しているが、そんな現状を、大学病院ならではの高い専門性を生かしつつ、地域保険薬局との連携強化によって打破し、医療安全や医療の質向上につなげていこうとチャレンジしているのが同院薬剤部だ。伊東弘樹薬剤部長と佐藤雄己副薬剤部長にお話を伺った。

## 大分県唯一の大学病院として 薬剤師地域派遣で専門性を発揮

—はじめに、この大分県における貴院の機能と役割についてご紹介ください。

**伊東** 当院は、大分県内における唯一の大学病院であり、特定機能病院です。病床規模は618床、17病棟を有しています。

地域における役割は明確で、県内における医療の「最後の砦」というのが医療者と患者さん双方の共通認識です。他の医療機関では手に負えない患者さんが多数紹介されてきますし、また、高度救命救急センターも併設しています。ドクターヘリも運用しており、県内全域どこでも20分以内に駆けつけることが可能です。都道府県がん診療連携拠点病院としても、地域の中核となっています。

当院は紹介状による受診が原則ですが、ほかの都市部の大学病院や特定機能病院と異なるのは、長年当院をかかりつけとして通院している地域の患者さんが一定の割合おられることです。そういう患者さんに対しては、かかりつけ医機能も提供しています。

—薬剤部では他の医療機関に、薬剤師の派遣を行っているとのことでした。

**伊東** 県内の大学には、薬学部が1つありません。そのため、病院も薬局も行政も、慢性的に薬剤師が不足しているのです。県唯一の大学病院として、その現状を改善するための役割が求められています。

薬剤師の派遣は2015年から、地域医療機関の要請を受けて開始しました。ただ、当院も薬剤師が充足し

ているわけではありませんので、「院内業務に支障のない範囲で」という条件付きではありますが。

現在、まずは県内2カ所(136床と188床の病院)に、例えば「平日に月2回と土曜日」といった日程で薬剤師派遣をスタートさせました。派遣された薬剤師は、医療者ならびに患者向け講演会の講師を務めたり、回診に参加したりしています(図1)。

地域の医療機関の中には、件数は少ないですが、抗がん剤治療を実施しているところがあります。しかし、件数が少なくとも求められる専門性は変わりませんし、大学病院と異なり、がん関連の専門認定資格を有する医師・薬剤師・看護師がそろっているわけではありません。そこで、当院からがん専門薬剤師の資格を有する薬剤師を派遣し、抗がん剤治療のレジメン、投与スケジュール、副作用モニタリングや支持療法について支援を行っていま

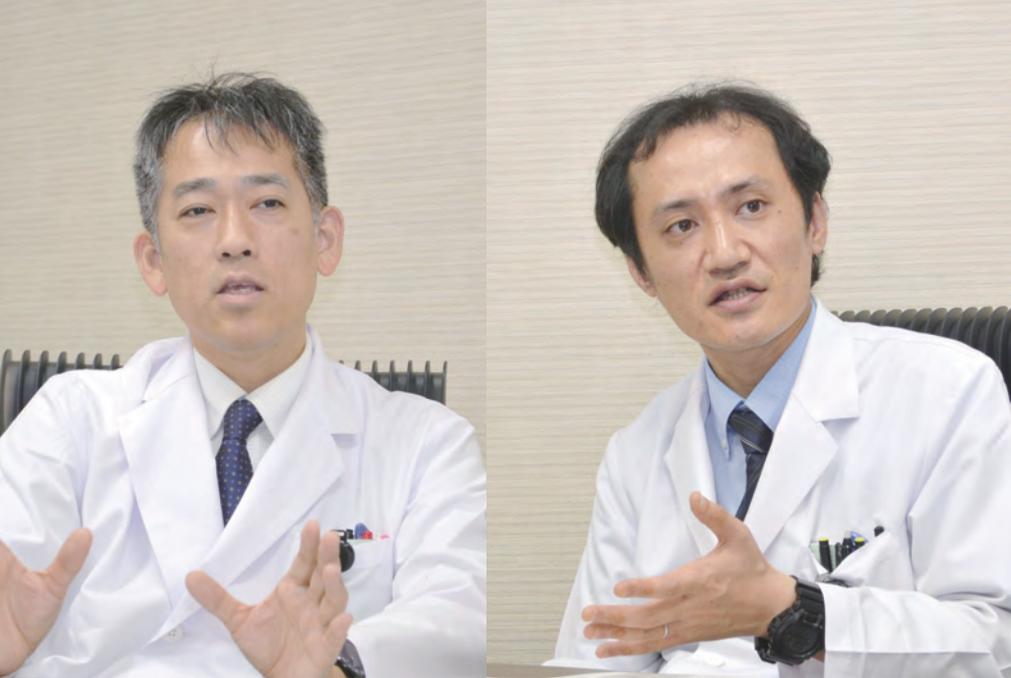
す。このように専門性を発揮して地域を支援することは、病院長からも「大学病院の使命だ」との言葉ももらっています。

実は、調剤など通常業務に携わる薬剤師の派遣要請についてもご要望をいただいています。しかし、通常

図1 派遣先の病院で回診に参加する薬剤師



(写真提供：大分大学医学部附属病院薬剤部)



なサポートを行っています。

例えば、2012年6月から手術部における麻薬、筋弛緩薬のオーダー入力支援を開始しました(図2)。かつては麻酔科医のマンパワー不足から、麻薬や筋弛緩薬の処方入力時のダブルチェックが不十分となり、処方間違いや処方忘れが頻発していました。手術部に薬剤師を常駐させることはできませんが、手術が決まって医師から指示が出

業務にかかわる薬剤師が不足しているのは県内全域に言えることですから、現段階では、大学病院薬剤師として専門性の高い支援が必要と判断されるケースのみ、派遣を行っているのが実状です。

### 手術部や救命救急センターでの麻薬等の入力支援は 医師、看護師の負担軽減に効果

——院内においては、薬剤部は医療安全の向上を視野にさまざまな活動に取り組んでおられるそうですね。  
**伊東** はい。特に医療安全管理部とは密接に連携して活動しており、インシデント発生時には、担当薬剤師が現場に駆けつけ、対応に当たります。

また、通常業務でも医療安全の視点から、さまざま

たら、薬剤師が入力を担当し、医師が承認してオーダーが確定するシステムにしたのです。薬剤師による入力支援マニュアルも作成しました。

2013年6月からは高度救命救急センターにおいても、TDMが必要な薬剤やてんかん発作抑制に使用される薬剤等については、薬剤師がTDM検査オーダー入力支援を行っています(図3)。

——薬剤の入力支援を薬剤師が担うことで、現場の医療者からはどのような反応がありましたか。

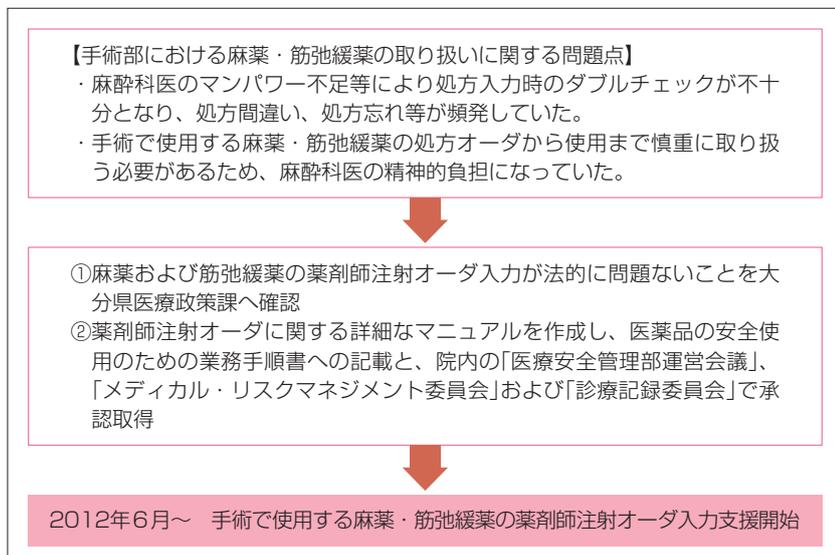
**佐藤** 現場では、医師は忙しく、看護師も多様な業務の中で薬剤を扱うのはリスクと感じていたと思います。薬剤師が薬剤の入力支援を行うことで安全性が高まるのはもちろん、医師は治療に、看護師はケアに専念できるため、院内調査の結果によれば「リスクが軽減した」などの声が寄せられています。

——患者指導に関する取り組みではいかがでしょうか。

**佐藤** 入院患者さんについては入院時に持参薬のチェックを行い、薬剤名・規格・用法用量・相互作用・残薬状況について鑑別し、処方を整理して、鑑別結果を医師が承認します(図4)。退院後の処方内容についても退院時にチェックを行っています。

また、外来化学療法室における患者指導にも、2012年7月からかかわっています。抗がん剤治療では、副作用が出現したことを最初に認識するのは患者さんですから、薬剤師が副作用情

図2 手術部における麻薬・筋弛緩薬の薬剤師注射オーダー入力支援について



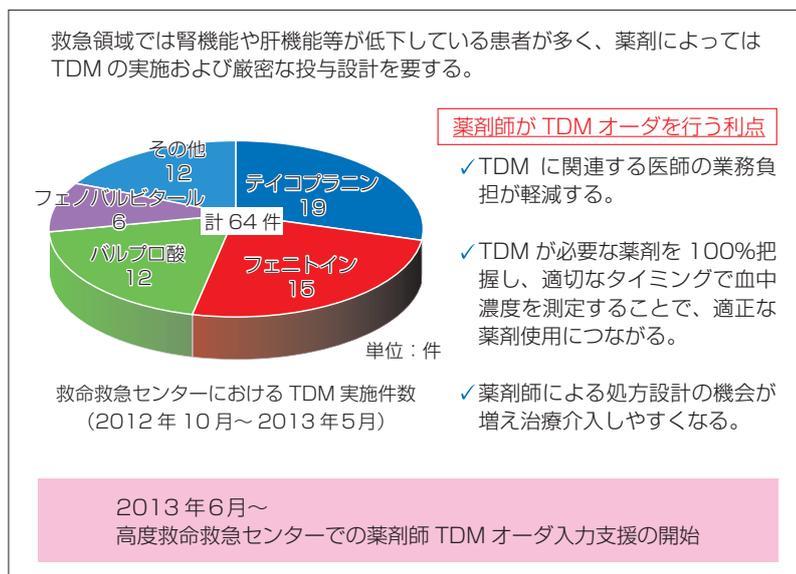
(資料提供：大分大学医学部附属病院薬剤部)

報や副作用が出た場合のセルフケアについて情報提供することは重要です(図5)。

——薬剤部も決してマンパワーが充足しているわけではないとのことですが、そのように多岐にわたる院内業務の優先順位は、どのように決めておられるのですか。

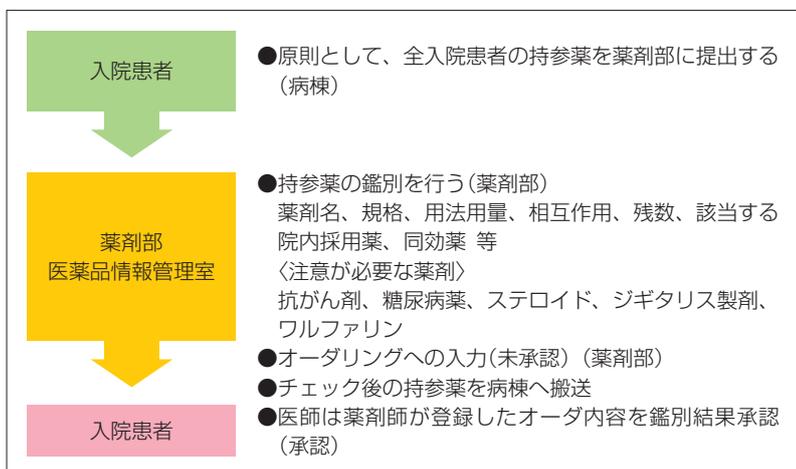
**伊東** 医師が不足している部署で、薬剤師のかかわりによって医療の質や医療安全の向上に寄与できるのであれば、薬剤部がかかわるべき課題として優先順位を上げています。また、他の医療機関がやっていないことにチャレンジしたいという気持ちもありますので、新たな試みがあれば、積極的に実践するようにしています。

図3 高度救命救急センターにおける薬剤師 TDM オーダ入力支援について



(資料提供：大分大学医学部附属病院薬剤部)

図4 持参薬チェックの流れ



(資料提供：大分大学医学部附属病院薬剤部)

## 物忘れ外来における薬剤師の問診と指導 認知症症状抑制や活動アップにつながる

——さらに院内での取り組みとして、貴院の物忘れ外来において「薬剤師外来」を行っているようですが、詳しくご紹介ください。

**伊東** 当院の認知症診療の窓口として、総合内科・総合診療科に物忘れ外来が設置されています。近年、抗認知症薬には治療効果の高いものが次々に登場していますが、物忘れ外来を担当する医師から、「服薬アドヒアランスが低い患者さんが多いため、外来で薬剤師による指導を始めてもらえないだろうか」という相談がありました。

そこで、2015年8月から薬剤師外来を開始しました。事実、アルツハイマー型認知症患者264名を対象にした調査では、1年後に服薬できなくなっている方が半数以上を占めるという結果があります。

**佐藤** 物忘れ外来における薬剤師外来は週2回、午後実施しています。物忘れ外来の患者さんは、地域のかかりつけ医が診療している主疾患があり、そこに物忘れがあって当院の専門外来を受診したという患者さんが多いです。そのため、「患者さんが認知症を理解しているのか」「ご家族が認知症を受け入れているのか」というところが不明です。薬剤師外来スタート当初は、1患者さんあたり30分から1時間をかけて問診を実施し、既往歴をはじめさまざまなことを聴取していました。現在は、「アドヒアランスが悪いのか」「薬のことを知りたいのか」など、医師からの依頼内容を基に、課題を改善するため平均10分程度の間診を実施しています。

——服薬アドヒアランスが悪いケースでは、どのような点を聴取するのですか。

**佐藤** まず、自宅での生活状況や、どのタイミングで服薬しているかというところを伺っていきます。

アドヒアランスが悪いということは、「薬が効いていない」もしくは「薬をきちんと

図5 外来化学療法室における患者指導

外来化学療法では副作用が発現した場合は、患者自身が対応することが必要であることから、副作用・セルフケアに関する患者指導が必要である。

2012年7月～ 外来化学療法室における患者指導開始

- ・外来化学療法室(15床)において投与レジメンが初回の患者を対象に指導  
→投与2回目以降も継続して指導と副作用モニタリングを行う。
- ・担当薬剤師：2名(良性疾患・ホルモン剤投与を除く)

〈指導内容〉

- ①抗がん剤の治療スケジュール、副作用症状、発現時期および副作用対処方法など指導
- ②抗がん剤以外の内服薬については処方内容、副作用、相互作用および服薬アドヒアランスなど
- ③支持療法の処方提案

業務内容を明文化し、医薬品安全使用のための業務手順書への記載と、院内の「医療安全管理部運営委員会」、「メディカル・リスクマネジメント委員会」および「診療記録委員会」等で承認取得

(資料提供：大分大学医学部附属病院薬剤部)

と服用していたらここまで進行しない」「物忘れや徘徊など、急に症状が進行している」などの問題を抱えておられるということです。薬は、食事と共に服用する患者さんがほとんどですので、アドヒアランスが悪い場合は、朝服用となっているのに起床が遅いとか、朝食を抜くことが多いなど、生活習慣が原因となっているケースが少なくありません。

そこで、普段の生活習慣についてお話を伺い、可能であれば服用を夕方に変更するとか、1日2食の場合は2回服用への変更を検討するなど、医師と相談しながらアドヒアランスを向上させるための生活習慣のあ

り方、服薬の仕方を提案していきます。

——薬剤師外来で対応されたあとは、どのような流れになるのでしょうか。

**佐藤** 実際に薬が服用できるようになったかどうかや、薬剤師外来での指導内容については、地域の保険薬局薬剤師に伝えるようにしており、その後をフォローしてもらっています(図6)。フォローのために、保険薬局薬剤師が患者を訪問して、服用の現状について確認や指導を行うケースもあります。

そうして薬がきちんと服用されるようになることで、認知症症状の進行が抑制されたり、無表情だったのに明るくなるなど、劇的変化がみられる患者さんもおられます。

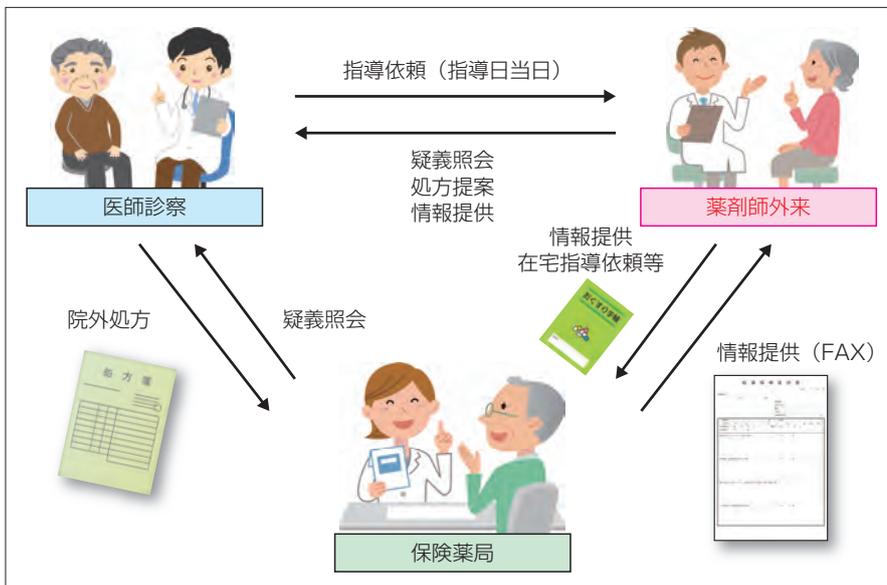
### 保険薬局薬剤師向け勉強会・研修会開催が医療安全向上と連携強化をもたらす

——地域の保険薬局とのお話が出ましたが、保険薬局薬剤師を対象に、フィジカルアセスメント勉強会を開催されているそうですね。

**伊東** 大分大学医学部には医学生・研修医用スキルラボセンターがあり、研修用のシミュレーターがそろっています。その設備を保険薬局薬剤師の研修に活用しようということで、2013年から1クール5回シリーズ(定員20名)で、フィジカルアセスメント勉強会を始めました。大分市、別府市のみならず県境からも参加があります。保険薬局薬剤師が在宅訪問する機会は増えていますから、そのような際の実践的なスキルを身につけていただくことが目的です。

勉強会の前半は講義、後半はシ

図6 物忘れ外来における薬剤管理指導実施手順



(資料提供：大分大学医学部附属病院薬剤部)

ミュレーターを活用してバイタルの取り方などを実践してもらいます。参加者からは、「患者さんに実践してみました」とか「患者さんへの接し方が変わりました」という声が寄せられています。

そのほか保険薬局を対象とするものとしては、在宅患者に対する輸液調製のノウハウについて勉強会を開催したり、外来化学療法のレジメン

について薬剤部のホームページで紹介することで、患者さんがどのような治療を受けているのかを情報提供しています。

また、「疑義照会以外で、患者さんのことや治療について聞きたいことがあれば、薬剤部に電話で問い合わせてもらえれば、薬剤師がお答えします」と周知しています。

——処方箋に患者さんの検査値を表示するようになったことも、地域の保険薬局薬剤師との連携において一助になっているようですね。

**佐藤** 2016年1月から、院外処方箋に患者さんの過去2回の検査値14項目の表示を開始しました(図7)。また二次元バーコードが表示され、それを読み込めば、手入力せずとも検査値が自動出力できるようになっています。入力ミスなどのリスクを減らす工夫です。

処方箋への検査値表示に当たっては、保険薬局薬剤師を対象に研修会も4回ほど開催しました。検査値を表示するようになって以降は、保険薬局薬剤師から、検査値についての疑義照会の割合が増加しました。「腎機能が低下しているのに、腎機能に影響がある薬

図7 大分大学医学部附属病院における院外処方箋への検査値表示について

1. 開始日：2016年1月4日(月)
2. 記載箇所：処方箋の見本を薬剤部HPへ掲載
3. 記載する臨床検査値(90日以内に測定歴があるもの)  
WBC、Neut、Hb、PLT、PT-INR、AST、ALT、T-Bil、  
血清Cr、eGFR、CK、CRP、K、HbA1c 計14項目
4. その他掲載項目  
・身長、体重、体表面積、化学療法レジメン名  
・処方医から保険薬局、保険薬局から処方医への連絡事項記載欄

(資料提供：大分大学医学部附属病院薬剤部)

が処方されている」とか、「検査が必要な薬剤が処方されているが、検査が行われていないのではないかなど、医療安全的な視点による疑義照会が増えて、医師からは「ありがたい」という声が寄せられています。

前述したように、大分県は慢性的な薬剤師不足にあります。病院や保険薬局など施設の区別なしに、連携による助け合い、相互補完をしていかなければ、質も機能も、そして医療安全も高まっていきません。そういう点では、当院の勉強会に保険薬局から積極的に参加していただいていることは、連携強化という点でも、スキルアップという点でも、よい循環となっていると自負しています。

——今後の課題についてお教えてください。

**伊東** やはり、薬剤師のマンパワー不足は大きな課題で、地域との連携がますます重要です。

現在、薬剤師外来は物忘れ外来の週2日のみですが、外来にもう少し薬剤師を配置して、薬剤師外来によって地域との連携を強化していきたいです。そうなれば、残薬やポリファーマシーの問題に対しても、今以上に効果を上げることができるのではないかと考えています。

新薬についても保険薬局薬剤師と連携しながら、副作用情報などを共有していきたいと考えています。

また近年、薬学部進学者が年々減少傾向にあるように思います。そういったことを鑑みると、今後、薬剤師は実力をつけ、他の医療職から必要とされる薬剤師にならなくてははいけません。研究的視点、後進を育成する視点を持ちながら、ニーズを掘り起こし、薬剤師の役割を一層発展させていく必要があると思っています。

——どうもありがとうございました。

### ■ 大分大学医学部附属病院の概要 ■

1976年大分医科大学開学。1981年10月大分医科大学附属病院開院。2003年大学統合により大分大学医学部附属病院となる。2010年より建物の再整備事業に着手し、まもなく完成予定。2017年現在、病床数618床を有する。平均外来患者数1,008.9人/日、平均入院患者数513.2人/日、院外処方箋発行枚数13万8,237枚/年(いずれも2016年度実績)。薬剤師30名(2017年度)。都道府県がん診療連携拠点病院、エイズ治療中核拠点病院、肝疾患診療連携拠点病院、高度救命救急センターほか。

■所在地：〒879-5593 大分県由布市挾間町医大ヶ丘1丁目1番地  
■URL：http://www.med.oita-u.ac.jp/hospital/index.html



# 地域包括ケア時代の 薬局・薬剤師の役割



ファルメディコ株式会社  
大阪大学大学院医学系研究科  
統合医療学寄附講座特任准教授  
医師・医学博士 **狭間 研至**

## 第30回 バイタルサインの位置づけが大きく変わる!?

**2018年度の調剤報酬改定で  
“モノ”から“ヒト”へ比重が変化**

2009年夏に、私が運営するハザマ薬局の薬剤師を対象にバイタルサインの講習会を開催しました。それは、自分自身が在宅医療の現場での活動を始めたころ、薬剤師と一緒に働くことの意義を漠然とではありますが実感し始めていたときに、「薬剤師も医療の共通言語であるバイタルサインは知っておくべきだな」と思ったことがきっかけでした。当時、薬剤師は人の身体に触れてはならないという「都市伝説」が固く信じられていましたので、「薬剤師が血圧測定なんて!」という意見はたくさんありましたし、「調剤過誤をゼロにすべし」という永遠のテーマを抱える業界ですから、「その重要性はわかるが、それは今の業務を完璧にできるようになってからの話だ!」ということで、うやむやになることも少なくありませんでした。

その後、薬学教育のモデル・コアカリキュラムが新しくなり、バイタルサインの位置づけが従来よりも中心に寄ってきた感じはありますが、まだまだ「知っておいたほうがよい知識」程度になっていることが多いのも現実です。また、実務実習でどの程度活用されているかという点、病院、薬局、在宅、OTCを問わずに、ほとんどその事例はないというのが実際のところなのではないかと思えます。

しかし、2018年度の調剤報酬改定を契機に、バイタルサインの位置づけは、今一度大きく変わるのではないかと考えています。というのも、2015年秋の厚生労働省『患者のための薬局ビジョン』を受けた改定になりますから、そのビジョンで示されたキーワードの1つである「対物から対人へ」というのは、報酬制度においても影響を及ぼすのではないかと考えるのです。

今までの調剤報酬制度は、薬剤師が薬という“モノ”を渡す部分に重きを置いてきたのではないかと考えます。それが、患者さんという“ヒト”の疾病や症状をよ

くすることができたかどうかという部分に比重が変化するのかもしれないのです。病院薬剤師業務の変遷は、病棟薬剤師業務にコストがつくようになったことをきっかけに始まり、その後に病棟常駐が進んだのも、報酬制度の改定があったことが重要な要素であったと思います。それと同様のことが、今年4月の改定で起こるのではないのでしょうか？

**薬を飲んだ後の患者をフォローするために  
バイタルサインを理解・活用しよう**

つまり、2018年度の調剤報酬改定が「対物から対人へ」ということをテーマに大きく変わるとするならば、薬剤師の仕事が、“薬をお渡しするまで”から“薬を飲んだ後へ”とシフトすることにつながっていくはずですが、例えば降圧剤を、患者さんの状態を聞いて、重複投与や相互作用がないかをチェックした上で、調製してお渡しするというのは重要なことですが、それ自体は薬という“モノ”を扱う仕事にすぎないと言えるのかもしれない。大切なことは、薬を患者さんにお渡しすることではなく、患者さんの血圧を下げるということなのです。そうすると、飲み始めて3日目の血圧がどうなっているかどうかをチェックしなければいけません。もし、血圧コントロールがうまくいかないときには、生活習慣の再チェックだけでなく、コンプライアンス、相互作用の有無などを薬学的見地からアセスメントする必要があり、それらの結果を医師にフィードバックすることで、残薬が減少するだけでなく、多剤併用や薬剤性有害事象の回避が可能になるでしょう。そして、これは在宅だけでなく、一般の外来診療の患者さんでも同様のことなのです。

このようなことから、地域包括ケアシステムの中での薬剤師の在り方をよりよいものにしていくためには、バイタルサインを理解し活用することが欠かせないと考えています。

# 2025年を見据えた薬局マネジメント

## —人材育成の観点から—

全国薬剤師・在宅療養支援連絡会 会長  
栃木県薬剤師会 会長  
株式会社メディカルグリーン 代表取締役社長  
大澤光司



### 第5回 “蝶”が集まる職場づくりに努める

#### ■当社が新卒採用にこだわる理由

盤石な経営のための人材づくりについて述べてきましたが、「共通意識を持った人材を育てる」という点では「新卒を採用していく」というのも有効な手段の1つです。新卒は真っさらな状態ですから、社風にもすんなり馴染んでくれますし、そうした人が多数を占めるようになれば、自然と同じ意識を持った人たちの組織ができていきます。

中途採用が悪いわけではありません。しかしながら、育った環境が違うため、意識統一に難儀する場合があります。例えばアメリカで長年運転していた人が、日本へ来て運転するとなると、注意していても、右折などをしたとき誤って右側車線に入ってしまったりするわけです。あるいは、職場内で、ある人は中国語、ある人は英語、ある人はドイツ語で話そうとする。そのような状況では、互いに悪気はなくても、「それって、こうやるんじゃないの?」、「いや、こうだよ」とぶつかる場面が出てきます。当社・株式会社メディカルグリーンも、昔はそういうトラブルが少なくありませんでした。

そのようなことから私は、「新卒を採ることで最初から言語統一を図ろう」と考え、十数年前から常勤薬剤師の採用は新卒に限っています。「うちは地方の小さな薬局だから、新卒は採れないかな」と不安でしたが、いざトライしてみると、この14年間、ずっと新卒採用が叶っています。これを数値化すると、当社の常勤薬剤師の新卒率は実に92.6%です。薬局長も新卒率84.6%で、今年5月に新店舗ができたなら90%を超す予定です。

#### ■「人罪」にならず「人財」になろう

さて、貴重な新卒者です。入社してきたら、本連載の第3回に書いたように、「しっかりした根」をつくってもらうため、まず当社の姿勢や社会人としての心得をきっちりと学んでもらいます。その1つとして、新

人研修で私は「人罪」「人在」「人財」の3つの人材を説明しています。

「人罪」は、言われたこともできないのに不満ばかり言う人。経営者としてはできるだけ早く辞めていただきたいが、こういう人に限ってなかなか辞めてくれない困った人のことです。ですから、「こういう人には絶対になってくれるな」と口を酸っぱくして言います。

「人在」は、言われたことを言われたとおりにやるだけの人。人罪よりはずっといいですが、指示されたことをこなすだけで自主性がない。不況時など会社が苦しいときには、リストラの対象になる人といえます。

3つめの「人財」は、自分で考えて自分で成果を挙げられる人。会社が本当に求めている優れた人であり、当然ながら、こういう人を会社は絶対に離しません。新人には「ぜひ、こういう人になってね」と言っています。

#### ■人材が定着する職場づくりを

どういう人材を集め育成するかということを書いてきましたが、せっかくいい人材を確保・育成しても、その人材が流出してしまうようでは困ります。経営者や管理者は、いい人材が定着する職場づくりに努めることも大事です。

びろうな表現で恐縮ですが、「花には蝶が集まるが、ウンチには蠅がたかる」などといわれます。会社がウンチだと蠅(人罪)ばかり集まるけれど、花であれば蝶(人財)がやってくるということです。逆に言えば、蠅ばかりが集まっている会社、蝶が辞めていく会社は、早急な組織改革が必要だということです。

では、蝶が集まる職場にするにはどうすればいいか。私は何ととっても社員同士の仲がよく、気軽に相談し合える風通しのよい雰囲気であることだと考えます。そこで、そういう雰囲気を醸成しようと社員間が交流できる場を設けるようにしています。全社的なものとしては、夏場の「暑気払い」と称した食事会と、暮れの忘年会があります。当社は薬局、介護、子育て支援の

3部門の施設があり、社員はパートを含めると総勢約160人にもなり、一堂に会することはまずありません。しかし暑気払いと忘年会だけは全社員に声掛けし、普段顔を合わせる機会のない人たちとも交流できるよう図っています。

それから薬局スタッフについては、「薬局間の交流」ということで、サークル活動を支援しています。介護部門や子育て支援部門は、老人ホームやデイサービスセンター、保育園など1施設に大勢のスタッフが集まっているのに対し、薬局部門は各店舗がいずれも小さく、スタッフもせいぜい数人なので、職場内での交流も細々としたものになります。そのようなことから、「2店舗以上、3人以上」が集まって行うことは、どんなことであれサークル活動として認め、活動の補助金として月2,000円を出すということを行っています。

「サークル活動」といっても、メンバーや活動内容は毎回異なっても構いません。「先月は町歩きサークルだったのが、今月は顔ぶれを変えて花見会」というのでも承認します。先日も、「女子会」と称しながら、なぜかメンバーに男性を混ぜて申請してきたグループがありました。が、「あいつはちょっと線が細いところ



があるから、まあ、いいか」と非常にゆるい査定をし、補助金を出しました。こちらとしては、中身はどうであれ、明るく仲良く交流してくれればいいのです。

職場づくりとしてはほかに、薬剤師のモチベーション向上を図ろうと、マネジャー制を導入しました。後発医薬品使用促進やリスクマネジメント推進など、テーマごとにマネジャーを置き、全店舗をフォローしてもらおうというものです。「全社的な責任者」ということで、マネジャーになった人たちは熱意を持って取り組んでくれています。

職場づくりや人材育成についてのアイデアはまだまだありますが、誌面が尽きたようなので最後に一言。

「2025年」が迫っています。たくさんの“蝶”を集め、彼らとともに乗り切っていきましょう。

\*「2025年を見据えた薬局マネジメント」は今号で最終回となります。次号より、大澤光司氏による新たな連載がスタートしますので、引き続きご期待ください。(編集部)

連載エッセイ

認知症？

第15話(最終回) 会計のレジの前で

私もときどき、1人でお店に入って買い物をすることがあります。

しかし、会計をするときになると、なぜかレジの前でただ立って、ぼーっとしていることがしばしば。すると、店員さんから声をかけられます。

「お勘定がまだなんですけど?」と。

そこで、はっと気が付きます。“そうだ、会計をするんだった”と。

お金を支払いたくないとはいわなく、頭が代金を払うという



・本エッセイの内容はすべて執筆者の個人的な見解であり、現在所属する病院の公式見解を示すものではありません。

株式会社 日立製作所  
ひたちなか総合病院 在宅医療推進センタ長  
亀山仁一



ところまで回っていないだけなんです。特別に難しいことを考えているわけでもないのに――。

ただ、ぼーっとして待っているだけなんです。レジ係の人、申し訳ありません。

次に並んでいる人が、どのように思っているのかも気になります。今後、注意します。

< sink into oblivion >

.....  
本誌2016年の10月号から15回と長期に渡り、小生の雑文(認知症?)をご笑読いただき、誠にありがとうございました。今号をもちまして、終わりとさせていただきます。読者の方で、何かご用命でもありましたら、ご一報いただければ幸いです。最後に、連載していただいた日本ケミファ(株)様に深謝して筆を置きます。(亀山仁一)

File. 74

## 合同会社あおば薬局

(本社：三重県桑名市)

**医師らの在宅訪問診療には積極的に同行  
患者の不安を解消し、身近で頼れる存在へ**

三重県桑名市で、地域医療に積極的に参加している合同会社あおば薬局。2015年に新体制へと移行した同社は、がん終末期や難病の患者の不安を解消できるよう在宅医療にも注力。近隣薬局や多職種と連携し、地域医療において薬剤師が「不可欠な存在」となれるよう取り組みを進めている。



▲薬剤師 加藤文啓氏

—はじめに、貴社の概要をご紹介ください。

あおば薬局は1997年に開局し、地域の住民や医療・介護スタッフにより必要とされる薬局を目指して、2015年に新体制へと移行しました。患者さんには同一スタッフによる対応を心がけ、がん終末期や難病の患者さんの不安を解消できるよう、在宅医療にも力を注いでいます。

—在宅医療においては、どのようなことに取り組んでおられるのですか。

がん終末期の患者さんにとって、自宅での生活や治療は余生に大きく影響を与えるだけに、在宅医療に関わる薬局薬剤師の果たす役割は大きいと考えています。そのため、在宅ではチーム医療を特に意識し、適切な薬物治療を行うために、医師の往診や看護師等の訪問には積極的に同行するよう心がけています。

また、薬剤師をより身近に感じてもらえるよう、近隣薬局とも連携して、地域の方々や医療・介護スタッフを対象とした薬の勉強会を開催しています。今後は

多職種間での症例検討会も開催し、在宅での治療に薬剤師が不可欠な存在となれるよう最善を尽くしていきたいです。

—来局する患者さんへの対応についてはいかがでしょうか。

薬物治療への関わりや服薬指導には気を遣いながら行っています。病気を把握し治療方針を理解した上で、適切な薬剤の使用を推進しなければいけませんし、薬物治療の経過について薬剤師の目線で得た情報を医師へフィードバックするためには、患者さんの状態変化やガイドラインの把握、最新の治療など、さまざまな情報が必要となります。

そのため、病院勤務の薬剤師をアドバイザーとして招き、服薬指導や健康に関する相談にも力を入れているところです。

これからも、地域医療に積極的に参加し、些細なことでも頼ってもらえる薬局、そして薬剤師を目指したいと思っています。



▲憩いの場所をコンセプトとし、庭のある緑あふれる外観。

▶薬が適正に使用できるように看護師・介護士向けに薬の勉強会を開催。



▼自宅での生活を支えるため医師・看護師・介護士等との情報交換を積極的に行っている。



▶あおば薬局のスタッフ。



### 基本 DATA

本社所在地：三重県桑名市星見ヶ丘9丁目1401番地／創業：1997年／店舗数：1店舗／従業員数：10名(内、薬剤師3名)

File. 75

## 株式会社パル・オネスト

(本社：埼玉県富士見市)

**社員発案の取り組みを積極的に事業化  
地域住民に愛され続ける薬局へ**

埼玉県南西部を中心に店舗展開をしている株式会社パル・オネスト。同社が掲げる経営方針は「誠意・創意・熱意」。この方針を具体化するように、社員のアイデアによるさまざまな取り組みが行われている。代表取締役の齋藤信夫氏にお話を伺った。



▲代表取締役 齋藤信夫氏

—はじめに、貴社の概要をご紹介ください。

パル・オネストは、埼玉県富士見市に本社があり、現在、埼玉県の南西部を中心に29店舗を展開しています。創業当初より「地域の人々に愛され、信頼され、喜ばれる存在」を目指し、社会貢献を念頭に置きながら、薬局運営を行ってきました。数年前からは、「世界一感動できる企業へ」をスローガンに、社員一丸となって、地域の方々や患者様に何が出来るか日々考えながら業務を行っています。

—社員の皆さんでアイデアを出し合い、何でもチャレンジするのが貴社の強みとか。

はい。例えば、アロマやハーブティーの販売等は社員のアイデアを事業化したものです。パル・オネストのキャラクター「パルつむり」も社員が考案しました。

最近では、患者様や地域の皆様に、より身近な存在となるよう、全社員、顔写真や趣味・特技などの入っ

た名刺を作成したのですが、これも社員の発案です。

なお、この名刺は障がいをお持ちの方が運営している企業様に制作を発注しています。

—定期的に「健康フェア」を開催されているそうですが、どのようなことを行っているのですか。

主に骨健康測定、血管年齢測定、禁煙啓蒙活動、栄養相談、健康相談などを行い、好評をいただいています。地域の皆様に、健康に関して興味を持っていただけるイベントとなるよう心がけています。

また、在宅医療にも積極的に取り組み、無菌調剤室を1店舗設置しました。在宅療養中の患者様に対して、医療チームの一員として貢献できるよう努力しています。

さらに調剤業務等に関しては、患者様に向き合える時間をできるだけ多くとれるよう、機械化を進めているところです。

これからも地域住民に愛され続ける薬局を目指して、取り組みを積み重ねていきたいと思っています。



▲東武東上線みずほ台駅近くのパル薬局。



▲健康相談などの「健康フェア」は定期的に開催。

▼在宅医療をサポートするため無菌調剤室を設置した。



▲同社のキャラクターの「パルつむり」。



▲表面に顔写真、裏面に趣味や特技などが入った名刺を作成している。

### 基本 DATA

本社所在地：埼玉県富士見市東みずほ台1-9-4 / 創業：1988年 / 店舗数：29店舗 / 従業員数：143名(内、薬剤師97名) / URL = <http://www.palonest.co.jp>

# 今月のおすすめ「食事療法レシピ」



## ごろごろ野菜の筑前煮

このような傾向の方におすすめ

- 糖尿病 ●高血圧 ●肥満 ●高尿酸血症・痛風

大きめに切った鶏肉や根菜、こんにゃくを軽く炒め、だしと調味料で煮ます。油で炒めることでコクが出て、味に深みが増します。

### ◎管理栄養士からのレシピポイント

根菜やこんにゃくに含まれる食物繊維には、血糖値の急激な上昇を抑える働きがあります。煮汁はかたくり粉でとろみをつけることで、薄味でももの足りなさを感じにくくなります。

#### 材料（2人分）

鶏もも肉（皮なし） 160g  
れんこん 60g  
ごぼう 50g  
にんじん 50g  
こんにゃく 100g  
干ししたけ（ぬるま湯で戻す） 3枚  
さやえんどう 6枚  
サラダ油 小2  
だし汁 1カップ  
しょうゆ 小2  
みりん 小2  
かたくり粉 小1

#### 作り方

- ①材料はすべて乱切りにし、ごぼうは水にさらし、れんこんは酢水にさらす。こんにゃくは、スプーンでちぎるようになって下ゆです。
- ②さやえんどうは筋を取って下ゆでし、半分に切る。
- ③鍋に油を熱し、鶏肉を炒める。肉の色が変わったら①を加えてさらに炒める。
- ④だしを加えて落とし蓋をし、5分煮る。しょうゆ、みりんを加えてさらに5分煮る。
- ⑤倍量の水で溶いたかたくり粉を回し入れ、煮汁をからめ、②を散らす。

- 塩分（1人前） 1.1g
- カロリー（1人前） 191kcal
- 調理時間：20分
- 分類：主菜
- 難易度：簡単
- ジャンル：和



©Nippon Chemiphar Co., Ltd.

そのほかのレシピもご紹介しています。詳しくは日本ケミファホームページへ。 <http://www.chemiphar.co.jp/>

### 薬価基準収載

## 日本ケミファのモンテルカスト製剤



ロイコトリエン受容体拮抗剤 / 気管支喘息・アレルギー性鼻炎治療剤

### モンテルカスト錠5mg・10mg「ケミファ」

＜日本薬局方 モンテルカストナトリウム錠＞

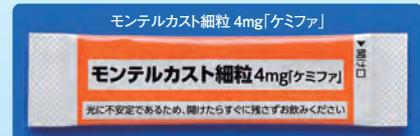


（剤形写真）

ロイコトリエン受容体拮抗剤 / 気管支喘息治療剤

### モンテルカスト細粒4mg「ケミファ」

＜モンテルカストナトリウム細粒＞



（包装写真）

ロイコトリエン受容体拮抗剤 / 気管支喘息治療剤

### モンテルカストチュアブル錠5mg「ケミファ」

＜日本薬局方 モンテルカストナトリウムチュアブル錠＞



（剤形写真）

- 効能又は効果、用法及び用量、禁忌を含む使用上の注意等につきましては添付文書をご参照ください。

製造販売元（資料請求先）  
**日本ケミファ株式会社**  
東京都千代田区岩本町2丁目2-3

H29-7

### おくすりに関する資料及び製品に関するお問い合わせ先

日本ケミファ株式会社 くすり相談室（安全管理部）

受付時間 8:45～17:30 土日・祝祭日を除く

TEL 03-3863-1225 フリーダイヤル 0120-47-9321

PHARMACY DIGEST [2018年2・3月合併号]

発行日 ■ 2018年1月29日

発行 ■ 日本ケミファ株式会社

〒101-0032 東京都千代田区岩本町2丁目2番3号

TEL: 03-3863-1211 (大代表) URL: <http://www.chemiphar.co.jp>

製 作 ■ 株式会社ドラッグマガジン / 印 刷 ■ 広研印刷株式会社